令和８年度　福岡県観光功労者表彰　受賞者一覧

＜個人＞

受賞者	受賞理由
博多祇園山笠振興会 顧問 武田（たけだ）　忠也（ただなり）	・　約 14 年の長きにわたり、博多祇園山笠振興会の副会長、会長、顧問と数々の役職を歴任し、ユネスコ無形文化遺産や国の重要無形文化財に指定されている、７８５年の歴史と伝統を誇る博多祇園山笠の伝統継承及び普及・振興に尽力した。 ・　平成 15 年からは振興会本部役員として、毎年６月の県外宣伝隊に加え、平成 16 年の上海、平成 27 年の静岡、令和元年の熊本での舁き山巡行の企画実行部隊として活躍した姿は、他の模範となっている。 ・　また、コロナ禍においては、17 ある自治組織（流）全体の調整役として、困難な状況下でも伝統行事の意義を守り抜き、関係者の結束を図りながら的確な判断と運営を行うことで、山笠の完全復活を実現した。
博多松囃子振興会 顧問 楢崎（ならざき）　尚弘（なおひろ）	・　約 15 年の長きにわたり、博多松囃子振興会の副会長、会長、顧問と数々の役職を歴任し、国の重要無形文化財に指定されている、８４７年の歴史と伝統を誇る博多松囃子の伝統継承及び普及・振興に尽力した。 ・　博多松囃子振興会在職中は、博多松囃子が保存している古面、鐙（あぶみ）等の修理・新調のため国へ働きかけるなど、現在の安全な博多松囃子行事の実施に貢献した。 ・　また、博多松囃子開催中、三福神の現在位置を GPS で確認できる「いまどこプラス」を導入し、来訪者が行列の場所を容易に把握できるようにすることで、観覧の利便性を大きく向上させた。
一般社団法人 筑後市観光協会 常務理事 冨安（とみやす）　春二（しゅんじ）	・　約 11 年の長きにわたり、筑後市観光協会の常務理事を務めている。 ・　筑後商工会議所の人脈を活用し、経営支援に知見のある者と共に、筑後市観光協会を任意団体から社団法人化した。 ・　法人化に合わせて協会の組織改革を行うなど、新たな観光協会の船出に尽力した姿は、他の模範となっている。
一般社団法人 岡垣町観光協会 監事 花田（はなだ）　修（おさむ）	・　約 13 年の長きにわたり、岡垣町観光協会の会長、監事の役職を歴任し、岡垣町の観光振興の推進に尽力している。 ・　アウトドアと旅館滞在を融合した岡垣町発の新しい宿泊スタイルである「リョカンピング®」など、数々の地域資源を活かした観光コンテンツを造成し、市の観光振興、地域活性化に寄与した。 ・　また、昭和４４年から自ら営む株式会社ＨＯＪにおいても観光客の受入や地元の野菜や魚介類を使った食事の提供などのおもてなしにより、同町の観光振興に貢献する姿は、他の模範となっている。

令和８年度　福岡県観光功労者表彰　受賞者一覧

＜団体＞

受賞者（所在地）	受賞理由
筵内ふるさと創生委員会 （古賀市）	・　筵内ふるさと創生委員会は、平成 18 年の発足以降、約 20 年にわたり古賀市筵内（むしろうち）内の敷地に咲く約 500 万本の菜の花を活用した「なの花祭り」の開催に取り組んできた。 ・　当該祭りの開催にあたり、菜の花の植栽・管理、祭りの企画・運営、来訪者対応、環境美化及び情報発信に取り組み、昨年度参加者数は 5,000 人を超え、多くの方に来場頂いている。 ・　また、菜の花を「見る」だけでなく、栽培、収穫、採種、搾油という農の営みを体験・学習できる機会を継続的に検討・実践するなど、市の観光振興に大きく貢献している。
特定非営利活動法人みやまウォーキング協会 （みやま市）	・　みやまウォーキング協会は、平成 29 年の九州オルレ「みやま・清水山コース」オープン以降、約 9 年にわたり本市の観光振興に寄与する取組としてオルレコースの維持管理、ガイドツアーの実施、イベントでのガイドに取り組んできた。 ・　また、オルレイベントに限らず、季節に応じた桜や紅葉などのスポットを巡るウォーキングイベントの開催、地元小学生と連携した清水山の環境保全や見どころを説明する看板の設置などに取り組み、市の観光振興に大きく貢献している。
福智町観光ボランティアガイド協会 （福智町）	・　福智町観光ボランティアガイド協会は、平成 24 年の発足以来約 14 年にわたり、観光ガイドとして無償で町の観光名所や魅力を紹介する他、ガイド人材の育成として月 1 回の勉強会、他市町村への視察研修等の取組を定期的に実施している。 ・　また、「上野焼春の陶器まつり」、「あがのガーデンフェスタ」等のイベントにおいて、全体の案内や受付対応を実施しており、令和 7 年 7 月には KBC 九州朝日放送「ふるさと Wish」の告知 CM にも出演するなど、顕著な活動実績がある。
等覚寺地区景観保全協議会 （苅田町）	・　等覚寺地区景観保全協議会は、平成 25 年の設立以降約 13 年にわたり、等覚寺地区における地域振興、農村の景観と原風景の保全、及びこれら共有の財産資源を活用することを目的に活動してきた。 ・　「日本の美しいむら景観百選」に選ばれている等覚寺地区における棚田を荒廃農地化から防ぐため、耕作管理を実施。加えて獣害を防ぐため棚田にワイヤーメッシュを設置するなど、観光資源の保全に尽力している。